

開講科目名 / Course	母性看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	濱 耕子	
担当教員名 / Instructor	林 猪都子、永松 いずみ、濱 耕子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	母性の概念や対象の特性、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状、およびライフステージにおける女性の健康と健康問題を通して、母性看護の役割と機能について学ぶ。	
到達目標	1. 母性の概念を述べることができる。 2. セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツの意義を述べることができる。 3. 母性看護の対象とその特性を述べることができる。 4. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を述べることができる。 5. ライフステージにおける女性の健康と健康問題を述べることができる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	01. ガイダンス、母性の概念、セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツ 02. 母性看護の視点・目的、母性の対象に関わる法律と支援 03. 母性看護の対象理解（生殖器の形態・機能、ホルモン動態） 04. 母性看護の変遷、母性看護における法的倫理的課題と責任 05. 母子保健の動向 06. 母性保護と関連施策について、母性看護に関わる理論 07. 思春期の女性の理解と看護、家族計画と受胎調節 08. セクシュアリティの発達・現代の健康問題、成熟期・更年期・老年期の健康と看護	
その他の授業の工夫	学生が講義参加できるように講義中に学生の意見を聞く。	
時間外学修	事前学修：系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論のテキストに目を通して講義に臨む（8h）。 事後学修：テキストや配布資料を用いて復習する（14h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験（100％）から評価する。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論（医学書院） 病気がみえる vol.10 産科（メディックメディア） 講義の中で適宜資料を配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	濱耕子：病院の助産師 永松いずみ：病院の助産師 林猪都子：病院の助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	エビデンスに基づいた看護と臨床経験をいかした看護を実践し、その理論と確かな技術を学生に指導する。	